

事業所内託児所をはじめ、 女性が安心して働き続けられる 環境が整っています。



企業プロフィール

設立: 1968年
本社所在地: 兵庫県神戸市
事業内容: 製造業(医療機器等の開発・
製造・販売等)
従業員数: 連結: 7,446名
単体: 2,526名
(2016年3月31日現在)

特徴的な制度・取組など

- 法定を上回る育児・介護休業制度や充実のカフェテリアプラン等により、育児と仕事の両立を積極的に支援。
- 事業所内託児所(キッズパーク)では、延長保育や一時的な預かりにも対応し、育児中の従業員をサポート。

取組のきっかけ・経緯

当社は積極的な女性採用を行い、製造業としては比較的女性比率の高い会社でした。しかし、2000年当時、退職率を比較したところ、男性が3%程度であるのに対して、女性は10%とやや高く、結婚、妊娠、出産を機に退職する実態もありました。女性にも長く働き続けてもらうため、両立支援関連制度の拡充を図ってきました。

以前から、育児休業(子が満2歳まで)、及び介護休業期間は法定以上でしたが、これに加え、フレックスタイム制度の導入、カフェテリアプラン(全従業員に一定のポイントを付与し、そのポイントを育児、介護、医療費、自己啓発等、各人が選択したものに使用することができる制度)の拡充等を行いました。さらに2009年には事業所内託児所を整備しました。その後も、労使一体となって取り組み、適宜、制度の見直しを行っています。

子育て中の従業員を支援するため取組・制度等

先述の通り、法定を上回る育児・介護休業制度、カフェテリアプラン等に加え、育児については連続3日間までは年次有給休暇扱いとなる「育み休暇」を設けています。さらに、子の出産時には慶弔休暇として2日間の休暇を取得できるため、男性も育児のために5日間の休暇を取得するケースが増えています。

育児短時間勤務制度は1日2時間まで、30分単位で設定が可能で、フレックスタイム制との併用もでき、子が中学校就学前まで利用可能です。子の看護休暇については子が中学校就学前まで、年に10日間取得可能です。また、失効した年次有給休暇の積立があれば、それを利用することができます(失効年次有給休暇の積立がない

場合は無給)。

また、事業所内託児所の開園時間は7:30~20:00となっており、時間外労働や出張時等にも安心して利用できます。託児所は敷地内に公園等も整備されているほか、提供する食事等も託児所内で作り、利用者には非常に好評です。定員は30名で非常に人気のある施設ですが、枠に空きがある時には、夏季休業中の一時的な預かりなどにも対応しています。

さらに不妊治療のため、最大14日間の休暇を取得可能です(失効年次有給休暇の積立を一部利用可能)。



キッズパーク外観

制度導入による効果等

総合職における女性比率は2000年代後半には2割程度でしたが、現在では4割程度となっています。当社を志望した女性に話を聞くと、出産や育児を経ても、キャリアを構築し、グローバルに活躍しながら働き続けることができる会社であることが、評価されているようです。

離職率についても、男女の差はかなり縮まり、男性は1~2%であるのに対し、女性は3%程度になりました。

出産後も育児をしながら継続就業できる社内環境が整備されているため、女性社員の昇格者も増え、キャリアの海外駐在者も増えてきました。その結果、女性管理職比率も年々上昇し、現在では8.3%(2015年度末)となっています。

育児を経験した女性や、そのような部下を持つ管理職が増えてきたことで、社内環境もより整ってまいりました。女性が産前産後休業を取得し、育児短時間勤務制度等を利用しながら継続就業することが一般的になり、それを受け入れる環境も整備されてきました。その結果、2011年に「くるみん」、2016年に「えるぼし(三ツ星)」を取得しました。

今後の課題・展望等

当社では、社員が育児や介護をしながら働き続けられるような環境や制度を整備してきましたが、今後、更に働きやすい環境とするため、在宅勤務制度等について、検討を始めています。

また、今後の課題として、ダイバーシティマネジメントが挙げられます。当社では、グローバル化や研究開発力強化への対応として、海外の大学からも優秀な学生を採用しています。各国から集まった従業員は、当然、文化や風習も違います。既に、日本国籍以外の従業員は全従業員の1割程度を占めていますが、今後ますます増えていくと考えられており、彼らが様々なライフイベントを迎えても安心して働き続けることができる環境の整備が必要であると考えています。



(左)人事部 人事課
シニアプランナー
中野 宗彦さん

(右)人事部 労務政策課
保健師
播野 雅子さん

制度利用者の声

キッズパークは 大きな支えになっています



施設管理部
ソリューションセンター管理課
本田 景子さん

私は、2006年に新卒で当社に入社しました。企業の選定にあたっては、女性が継続就業できる環境や制度が整っているかどうかにも注目しましたが、その点について質問した際、当社が一番誠実に答えてくれたため、当社を選びました。

2009年8月に第1子を出産し、育児休業を取得して2011年4月に職場復帰しました。そして、その後2014年8月に第2子を出産し、2016年5月まで育児休業を取得し、職場復帰しました。二人の子どもはいずれも、キッズパークを利用しています。職場復帰後は、2時間の育児短時間勤務をしています。

育児休業が2年間取得可能で、また、どのタイミングでも子どもを受け入れてくれるキッズパークが当社にあったことは、非常に心強く感じました。また、社内に保育施設があるため、子どもが体調を崩した際には、すぐに迎えに行くことができることも利点です。保育所はとてもアットホームな雰囲気、会社の敷地内で散歩している姿を見かけることもあり、いつも身近に感じられることも大きな安心につながっています。また、朝は主人が子どもを連れて出社し、帰りは私が連れて帰る、というような形での分担をしています。

入社当時から育児を支援する制度は整備されていましたが、年々、拡充されているように感じます。また、社内には仕事と育児を両立して活躍する女性も非常に多く、継続就業が当たり前のこととなっています。当社では、働いた時間ではなく、パフォーマンスで評価するため、育児中の女性の昇格も多く、私も短時間勤務を継続していますが、昇格することができました。

これから出産・育児をする方へ

出産や育児については、いろいろと不安もあると思いますが、今では両立支援のための制度も整っていますし、社内では育児をしながら仕事を続けて活躍することも当然になってきているので、安心して、仕事と育児の両立を目指して欲しいと思います。